

令和 4 年度

物品 第 17 号

医療器械等（生体情報モニタ）購入

特記仕様書

おいらせ町

医療器械等（生体情報モニタ）購入 仕様書

1. 総 則

この仕様書は業務の概要を示すものであり、状況により発注者が、必要と認めた軽微な部分については、受注者は契約金の範囲内においてそれを実施するものとする。

2. 納入(据付)場所

国民健康保険おいらせ病院内

3. 期 間

契約締結の翌日から令和4年12月20日まで

4. 業務内容及び規格

業務内容	院内にて使用する下記仕様内容の医療器械等（生体情報モニタ）について納入するもの。
生体情報モニタ (1) 機器構成	本体ユニット（DSC-8430） 1 台
	表示ユニット（LC-8016TC） 1 台
	DSC-8430 本体ユニット（DS-8007N） 1 台
	レコーダーユニット（HR-300） 1 台
	リチウムイオンバッテリーパック（BT0-005） 1 個
	8400 用トロリー上ユニット（OA0-8400） 1 個
	モニタ用トロリー下ユニット（OT0-13） 1 個
	長時間波形記録カード（SD-16G） 1 個
	無線双方向モジュール（HTC-701） 1 台
	HTC-701 用取付金具（OA0-106A） 1 個
	モニタ用血圧カフ 成人用標準（CUF-8504） 1 個
	エアホース／3.5m（OA-80APR3.5） 1 本
	心電中継コード C10-（3 電極）（C10-05CTP-3NU） 1 本
	心電計ケーブル（CM-700-3） 1 本
	ネルコアセンサ（DS100A） 1 本
	センサ接続ケーブル（DOC-10） 1 本
	送信機モジュール（HLX-801） 1 台
	リチウムイオンバッテリーパック（BT0-008） 1 個
	無線双方向モジュール（HTC-702） 1 台
	トロリー用収納ボックス（OA0-91A） 2 個
生体情報モニタ (2) 機器構成	ベッドサイドモニタ（DS-8100N） 2 台
	モニタ用血圧カフ 成人用標準（CUF-8504） 2 個
	エアホース／3.5m（OA-80APR3.5） 2 本

	心電中継コード C10-(3 電極) (C10-05CTP-3NU) 2 本
	心電計ケーブル (CM-700-3) 2 本
	ネルコアセンサ (DS100A) 2 本
	リチウムイオンバッテリーパック (BT0-005) 2 個
	レコーダー・拡張ポートユニット (HR-811) 2 台
	送信機モジュール (HLX-801) 2 台
	無線双方向モジュール (HTC-702) 2 台
	DS-8100 用 HTC 取付カバー (OA0-64A) 2 台
	モニタ用トロリー下ユニット (OT0-13) 2 個
	8100 用トロリー上ユニット (OA0-8100) 2 個
	トロリー用収納ボックス (OA0-91A) 4 個
生体情報モニタ (1) 及び(2) 機能仕様書	別紙のとおり
発注台数	・ 生体情報モニタ (1) 1 台 ・ 生体情報モニタ (2) 2 台
想定製品	・ フクダ電子(株) DS-8400/DS-8100
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搬入設置に際しては、担当職員の指示に従うこと。 ・ 納入場所までの輸送・据え付け・調整・資材費等、当該製品が正常使用となるまでの一切の費用を入札額に含むこと。 ・ 納入時の発生する養生材・梱包材は受注者が持ち帰ること。 ・ 導入後、保証期間内に発生した故障等については無償のうえ速やかに修復を実施すること。 ・ 各種関係法令及びガイドラインがある場合はそれらに則った製品を納入すること。

5. 提出書類

- ・ 業務着手届 (※契約締結後速やかに)
- ・ 納入完了届 (※納入完了後 5 日以内／納入完了写真等含む)
- ・ 物品引渡 (納品) 書 (※完成検査に合格したのち速やかに)
- ・ その他発注者が必要と認めた書類

6. 検 査

納入完了した際は、直ちに関係書類を提出し、発注者の検査を受け、合格した時をもって当該業務を完了したものとする。

7. 支 払

支払い及び請求方法については、納入完了届提出後の完成検査に合格した後、受注者からの請求書提出によって支払を行うものとする。

8. そ の 他

この仕様書に定めのない事項については、発注者及び受注者双方の協議により決定することとし、業務に関する協議等については、打合簿により行うこととする。また、契約保証金については、おいらせ町財務規則第 146 条第 1 項の規定によるものとする。

生体情報モニタ(1) 機能仕様書

1. 生体情報モニタについて、以下の条件を満たすこと。

- 1-0 既存のセントラルモニターに通信しバイタルを監視できること。
- 1-1 本体部、ディスプレイ部、生体情報入力部から構成され、一体型モニターであること。
- 1-2 使用する環境に合わせて追加モジュールを増設することにより測定パラメータを増やすことが出来ること。
- 1-3 1 台で心電図、呼吸、非観血血圧、経皮的動脈血酸素飽和度、二酸化炭素分圧、体温、観血血圧、心拍出量、BIS 値を同時に測定できる生体情報入力部を有すること。
- 1-4 ディスプレイ部は 15inch 以上、解像度（1366×768）以上のタッチパネル液晶ディスプレイを有すること。
- 1-5 下記のパラメータ患者ケーブルを自動認識して測定できるマルチコネクタを 2 つ以上有していること。観血血圧／体温／心拍出量
- 1-6 基本画面のみを表示する外部モニタを接続可能であること。
- 1-7 レコーダーは内蔵でき、用途に合わせ使用・未使用選択可能なオプションであること。
- 1-8 生体情報パラメータ用ケーブルコネクタはリスクマネジメントの観点からコネクタはずれを防止するためのロック機構が設けられていること。

2. 画面表示に関しては以下の要件を満たすこと。

- 2-1 最大 22 波形以上の表示が可能であること。
- 2-2 各測定項目の表示色を 13 色以上から選択ができること。
- 2-3 波形や計測値の色変更は 4 通りのパレット選択（色合い選択）が可能であること。
- 2-4 基本画面の背景表示色は黒だけでなく 9 通りから選択可能であること。
- 2-5 パラメータの実測値を識別し易い様に、単位と比較して高い輝度で表示可能であること。
- 2-6 人間工学的観点からメッセージ表示は「機器情報」「患者情報」「アラーム情報」の表示エリアを個別に持つこと。
- 2-7 画面上の患者名表示エリアに患者カテゴリー別に色で表現可能であること。
- 2-8 入退床画面においては、入力必須項目にマークを付け、判りやすい表現

になっていること

- 2-9 計測値の表示エリアをユーザーが使い慣れた画面に合わせるために、右左の選択が可能な機能を有すること。
- 2-10 各測定項目ごとにパラメータウィンドウを用意し、各測定項目の詳細な情報が確認できること。
- 2-11 計測値枠をタッチして表示される簡易設定ウィンドウ機能を有すること。
- 2-12 計測値枠をタッチして表示される簡易設定ウィンドウは上下左右に自由に移動可能であること。
- 2-13 設定ウィンドウの表示の際、余白のエリアが半透明になり背面の波形を確認することが可能であること。
- 2-14 操作し易い様に任意に登録できるユーザーキーを 22 個以上有すること。
- 2-15 よく開くウィンドウを最小化して 1 つのユーザーキーに最大 8 ウィンドウ格納可能な機能を有すること。
- 2-16 モニタリング画面上に各測定項目のアラーム設定値の表示が可能であること。
- 2-17 操作メニューの表示は日本語であり、かつ患者名の漢字表示も可能であること。
- 2-18 波形エリアの下部にトレンドとリストを表示する機能を有すること。
- 2-19 本体表示器に表示している内容とは別に独立した画面表示機能を 2 系統もっていること。

3. 操作に関しては以下の要件を満たすこと。

- 3-1 タッチパネルまたは赤外線リモコン、マウスによる操作が可能であること。
- 3-2 赤外線リモコン単体で誤操作防止のためのロック機構を有すること。
- 3-3 赤外線リモコンによるモニタの電源 ON が可能であること。
- 3-4 安全性の観点から、赤外線リモコンでの電源 OFF は不可能であること。
- 3-5 操作性を考慮し、ドラック&ドロップ機能を有すること。

4. 測定項目に関しては以下の要件を満たすこと。

- 4-1 以下の波形が表示可能であること。心電図 (ECG)、呼吸 (RESP)、観血
血圧 (BP1~8)、動脈血酸素飽和度 (SpO2-1、SpO2-2)、炭酸ガス濃度、
(CO2)、酸素濃度 (O2)、麻酔ガス濃度 (AGENT)、気道内圧 (AWP)、気
道流量 (AWF)、換気量 (AWV)
- 4-2 以下の数値が表示可能であること。心拍数、呼吸数、体温、動脈血酸素

飽和度、脈拍数、観血血圧、非観血血圧、CO₂（炭酸ガス濃度）、酸素濃度（O₂）、笑気濃度（N₂O）、麻酔ガス濃度（AGENT）、SvO₂（混合静脈血酸素飽和度）、CCO（連続心拍出量）、CCI（連続心係数）、BT（血液温度）、SpCO（カルボキシヘモグロビン濃度）、SpMet（メトヘモグロビン濃度）、SpHb（トータルヘモグロビン濃度）、PI（灌流指数）、PVI（脈波変動指標）、MVe（呼気分時換気量）、TVe（呼気 1 回換気量）、TVi（吸気 1 回換気量）、PEAK（最高気道内圧）、PEEP（呼気終末陽圧）、MEAN（平均気道内圧）、ScvO₂（中心静脈血酸素飽和度）、rSO₂（局所酸素飽和度）、BIS、RRSpO₂（呼吸数）

4-3 外部機器データを取り込む機能を有すること。

5. 心電図測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 5-1 計測範囲は 0, 12 ~ 300 bpm の範囲で測定が可能であること。
- 5-2 除細動装置に対する保護回路を有すること。
- 5-3 ST 計測機能を有し計測点の変更が可能であること。
- 5-4 3, 4, 5, 10 電極の使用が可能であること。
- 5-5 標準 12 誘導心電図のモニタリングができること。
- 5-6 不整脈解析機能を有していること。
- 5-7 不整脈解析項目は Asystole、Pause、Prolonged RR、Ext Tachy、Ext Brady、Tachy、Brady、SVT、S Frequent、S Couplet、SVPC、Irregular RR、Vf、VT、Slow VT、Run、Triplet、Couplet、R on T、Multiform、Vent Rhythm、Bigeminy、Trigeminy、Frequent、VPC、Pacer Not Caputre、Pacer Not Pacing 以上、27 項目であること。
- 5-8 心拍同期をディスプレイ上部に付属した LED の点滅にて表示する機能を有すること。
- 5-9 電極はずれ時、どの電極が外れているのかイラスト表示上の電極の点滅により認識が可能であること。

6. 12 誘導計測機能に関しては以下の要件を満たすこと。

- 6-1 12 誘導波形記録は長時間波形として最大 240 時間保存可能であること。
- 6-2 12 誘導波形記録表示はタイムバーの表示が可能であること。
- 6-3 12 誘導解析機能を有すること。また、解析結果は日本語表示であること。
- 6-4 12 誘導波形表示のタイムバーは解析をした時間にアイコンを表示し、過去の解析結果および解析時の波形にジャンプする機能を有すること。
- 6-5 総合判定、所見名、病変部位がイラストで表示するパノラマ表示機能を有していること。

7. 呼吸測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 7-1 計測範囲は0, 4～150bpmの範囲で測定が可能であること。
- 7-2 インピーダンスでの計測が可能であること。
- 7-3 無呼吸時間（APNEA）の計測が可能であること。

8. 経皮的動脈血酸素飽和度測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 8-1 計測範囲は1～100%の範囲で測定が可能であること。
- 8-2 リューザブルセンサおよび前額面センサーが使用できること。
- 8-3 新生児、小児に対してディスポセンサが使用できること。
- 8-4 センサーは2社以上から選択し、使用できること。
- 8-5 脈拍数を計測し、HR計測値枠に表示できること。
- 8-6 動脈血酸素飽和度の変化を同期音の音程にて把握できること。
- 8-7 動脈血酸素飽和度の測定を同時2ch可能であること。

9. 非観血血圧測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 9-1 計測範囲は0～300mmHgの範囲で測定が可能であること。
- 9-2 NIBPの連続測定時、最大15分で測定終了する様な制御がなされていること。
- 9-3 NIBP測定の間隔設定は、1分、……、120分、ルンバールモードが選択可能であること。
- 9-4 手動／定時／連続にて測定が可能であり、定時測定は測定開始をするときの起点設定が設定できること。
- 9-5 リスクマネージメントの観点から患者区分の異なる中継ホースをコネクタに接続した場合に注意喚起メッセージを表示する機能を有すること。
- 9-6 測定の終了を音で知らせる機能を有すること。
- 9-7 カフは小児用や大腿部用などのサイズを用意できること。
- 9-8 カフはラテックスフリーカフであること。
- 9-9 リスクマネージメントの観点から従来は把握困難であった循環動態の変化に伴う急激な血圧変動を捉えるため、脈波伝播時間（心電図のR波から脈波の立ち上がりまでの時間）の変化やECGのRR間隔などから複合的に判断し、トリガーとして自動測定する機能を有すること。

10. 観血血圧測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 10-1 計測範囲は $-50 \sim 300$ mmHg の範囲で測定が可能であること。
- 10-2 ゼロバランスが容易に行えること。
- 10-3 観血血圧から脈拍数を計測し、HR計測値枠に表示できること。
- 10-4 IABP使用時、通常の高血圧とサポート圧の値を同時に表示できる機能を有すること。
- 10-5 複数の血圧の0校正を同時に行う機能を有すること。
- 10-6 最大8chの観血血圧を同時に測定できること。
- 10-7 観血血圧のラベル設定において、ユーザーが自由に名前を設定可能なラベルを5つ以上有すること。
- 10-8 観血血圧のラベル毎に計測値および波形の色を設定可能な機能を有すること。

11. 体温測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 11-1 計測範囲は $0 \sim 45^{\circ}\text{C}$ の範囲で測定が可能であること。
- 11-2 同時に6個所の体温を計測できること。
- 11-3 体温ラベルを設定可能であること。
- 11-4 体温のラベル毎に計測値および波形の色を設定可能な機能を有すること。
- 11-5 任意の2つの差温を計測表示できること。
- 11-6 YSI-400シリーズのプロブを使用できること。
- 11-7 スワングアンツカテテル使用時に計測値枠内に血液温の表示が可能であること。

12. 呼気終末期二酸化炭素分圧測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 12-1 計測範囲はメインストリーム方式 $0 \sim 150$ mmHg、サイドストリーム方式 $0 \sim 99$ mmHg の範囲で測定が可能であること。
- 12-2 メインストリーム方式、サイドストリーム方式両方の測定で可能であること。
- 12-3 非挿管の方でも測定可能であること。

13. 麻酔ガス測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 13-1 二酸化炭素 CO_2 、酸素 O_2 (MGU-801P 使用時)、笑気 N_2O 、麻酔ガスの測定が可能であること。
- 13-2 麻酔ガス (ISO、SEV、HAL、ENF、DES) の自動検出が可能

なこと。また、麻酔ガスラベルの自動設定が可能なこと。

14. 心拍出量測定に関しては以下の要件を満たすこと。

- 14-1 サーマダイリユーション方式による測定が可能であること。
- 14-2 計測範囲は、0.1～20 L/min であること。
- 14-3 CC値の入力が可能であること。
- 14-4 リスト件数は10件以上であること。

15. アラームに関しては以下の要件を満たすこと。

- 15-1 アラームは、重要度に応じて5段階で通知する機能を有すること。
- 15-2 アラームは、IECの規格に準拠したアラーム表現が可能であること。
- 15-3 パラメータ毎の閾値アラーム設定画面においては、最適な設定を行うため、閾値の目安となるトレンドグラフの同時表示が可能であること。
- 15-4 アラーム設定画面においてアラーム判定 OFF の設定になっている場合、アラーム OFF イメージの表示が可能であること。
- 15-5 アラーム設定画面において、特定の管理者のみが操作可能にするため、パスワードロック機能を有すること。
- 15-6 アラーム設定画面とは別に、申し送り等に使用するためのアラーム設定一覧画面を有すること。
- 15-7 アラーム設定画面に関しては、現在測定しているパラメータのみの表示と、設定可能であるパラメータの一覧の表示が可能であること。
- 15-8 アラーム設定一覧画面においては、表示する項目の並び替えが可能であること。
- 15-9 アラーム設定一覧画面からもアラーム設定画面にジャンプすることが可能な操作性であること。
- 15-10 計測値枠内にアラーム OFF の表示およびアラーム設定の閾値を数値およびグラフとして表示可能であること。
- 15-11 アラーム発生時にはアラーム判定されたパラメータの波形及び計測値がハイライトされ、より判り易い表現が可能であること。
- 15-12 アラーム音は消音できない様に、最小設定値を設定でき、色を変えて表現できること。
- 15-13 アラーム発生時には、画面表示や音だけでなくディスプレイ上部に付属したLEDによる通知が行えること。
- 15-14 アラームの重症度を変更する機能を有すること。
- 15-15 アラーム閾値を2重化し、アラームの聞き逃しを防ぐ機能を有する事。

16. データ保存に関して以下の要件を満たすこと。

- 16-1 データ保存はグラフトレンド/リストトレンド/リコール/アラーム履歴/長時間波形保存機能を有しています。
- 16-2 画面に表示している日時のまま、別データの参照が可能なこと。

17. グラフトレンドに関して以下の要件を満たすこと。

- 17-1 24 時間分のデータを保存可能であること。
- 17-2 グラフトレンド表示時、時間スクロールをしやすい様に上部にタイムバーの表示が可能であること。
- 17-3 グラフトレンド表示時、アラームが発生したかどうか判り易い様にアラームイベントアイコンを表示できること。
- 17-4 グラフトレンド表示時、あるパラメータのスケールを変更する際、選択されたパラメータがハイライト表示する機能を有すること。
- 17-5 グラフトレンドは最大 8 パラメータを 1 画面で確認することができること。
- 17-6 グラフトレンドはトレンドを表現するドットの表現を丸や三角、折れ線グラフなど選択変更可能であること。
- 17-8 グラフトレンド表示のパターンを 4 つ以上登録することが可能であること。
- 17-9 基本画面にて任意のパラメータを選択しグラフトレンドを表示する画面枠、また機能を備えていること。

18. リストトレンドに関して以下の要件を満たすこと。

- 18-1 24 時間分のデータを保存可能であること。
- 18-2 リストトレンド表示時、時間スクロールをしやすい様に上部にタイムバーの表示が可能であること。
- 18-3 リストトレンド表示時、アラームが発生したかどうか判り易い様にアラームイベントアイコンを表示できること。
- 18-4 1 分単位の計測値がリストトレンドとして表示できること。
- 18-5 非観血血圧が測定された時間のリストのみを表示できること。
- 18-6 リストトレンド表示のパターンを 6 つ以上登録することが可能であること。
- 18-7 基本画面にて任意のパラメータを選択しリストトレンドを表示する画面枠、また機能を備えていること。

19. リコールに関しては以下の要件を満たすこと。

- 19-1 リコール波形保存件数は 200 件以上であること。
- 19-2 リコールリスト表示時、ページスクロールをしやすい様に上部にタイムバーの表示が可能であること。
- 19-3 リコールリスト表示時、タイムバー上にアラームイベントアイコンを表示できること。
- 19-4 リコールリスト表示の際に、発生時間、不整脈種類、圧縮波形が表示できること。
- 19-5 選択したリコールが発生した際のバイタルデータを表示する機能を有すること。
- 19-6 選択したリコールに関して拡大表示が可能であること。
- 19-8 リコールは 1 画面で最大 5 件表示可能であること。
- 19-9 リコールリスト表示の際に、表示データの中で最も新しいデータを識別し易い様、ハイライト表示可能であること。
- 19-10 リコールリスト表示はリコール要因の選択により表示の ON/OFF の切替が可能であること。
- 19-11 リコール波形保存機能はアラーム発生全てのイベントに関して保存可能であること。

20. アラーム履歴に関しては以下の要件を満たすこと。

- 20-1 アラームが発生した際の履歴をリストとして 1599 件分保存する機能を有すること。

21. 記録に関しては以下の要件を満たすこと。

- 21-1 測定している波形を 3 c h 同時記録することが可能なサーマルアレイレコーダを有すること。
- 21-2 サーマルアレイレコーダによりグラフトレンド／リストトレンド／リコール／長時間波形記憶における圧縮波形・拡大波形／血行動態データリストの記録が可能であること。
- 21-3 出力レコーダとして 3 ch レコーダユニットおよびセントラルモニタの 3 ch レコーダ、レーザープリンタの選択が可能であること。
- 21-4 ネットワーク構築されているレーザープリンタへの出力が可能なこと。

22. その他の機能、性能に関しては以下の要件を満たすこと。

- 22-1 OCRG 機能を有すること。また OCRG 機能において呼吸ソースをインピーダンスと CO2 の切替が可能であること。
- 22-2 セントラルモニタと有線 LAN にて通信が可能であること。
- 22-3 電波法に定められた特定小電力医用テレメータに準拠したデジタル A 型送信機を装着することで、測定データをセントラルモニタへ無線通信できる機能を有すること。
- 22-4 患者の個人情報保護の観点から画面輝度や同期音等を抑える機能を有すること。
- 22-6 バーコードリーダー、ID カードリーダー、無線バーコードリーダーの使用が可能であること。
- 22-7 時刻変更はパスワード管理が可能であり、複数の管理者パスワードで解除可能であること。
- 22-8 操作キーに関して、キーロックをかけることができ、パスワードにて解除が可能であること。
- 22-10 パスワードは最大 3 通り設定可能であり、3 通りに優先順位が設けられていること。
- 22-11 医用テレメータで送信しているセントラルモニタとアラーム同期、時刻同期、夜間専用モードの開始/終了、NIBP 測定の開始/停止が同期または操作できること。
- 22-12 ユーザーモードは最大 15 パターンの設定が可能であること。(メインモード 9 種・サブモード 6 種合計)

生体情報モニタ(2) 機能仕様書

1. ベッドサイドモニタは以下の要件を満たすこと。

- 1-0 既存のセントラルモニターに通信しバイタルを監視できること。
- 1-1 表示に関し、以下の要件を満たすこと
 - 1-1-1 ディスプレイ部は 10.1 インチワイドタイプカラーLCD であること。
 - 1-1-2 1 画面に最大 14 波形の同時表示が可能であること。
 - 1-1-3 計測値を拡大して表示する機能を有すること。
 - 1-1-4 患者の負担を考慮し、画面を非表示にできるスリープ機能を有すること。
- 1-1-5 モニタリングは成人、小児、新生児に対応していること。
- 1-2 操作に関し、以下の要件を満たすこと
 - 1-2-1 タッチパネルまたはジョグダイヤルによる操作が可能であること。
 - 1-2-2 操作の簡素化を図る為のショートカットキーを 5 個以上有すること。
 - 1-2-3 リモコンによる操作が可能であること。
- 1-3 測定項目に関し、以下の要件を満たすこと
 - 1-3-1 心電図、呼吸、経皮的動脈血酸素飽和度、非観血血圧、観血血圧 2 c h、体温 4 c h 測定可能であること。
- 1-4 心電図測定に関し、以下の要件を満たすこと
 - 1-4-1 計測範囲は 0, 12~300bpm の範囲で測定が可能であること。
 - 1-4-2 除細動装置に対する保護回路を有すること。
 - 1-4-3 S T 計測機能を有し計測点の変更が可能であること。
- 1-5 呼吸計測に関し、以下の要件を満たすこと
 - 1-5-1 計測範囲は 0, 4~150bpm の範囲で測定が可能であること。
 - 1-5-2 無呼吸時間 (A P N E A) の計測が可能であること。
 - 1-5-3 インピーダンスでの計測が可能であること。
- 1-6 動脈血酸素飽和度計測に関し、以下の要件を満たすこと
 - 1-6-1 計測範囲は ~100% の範囲で測定が可能であること。
 - 1-6-2 測定方式は、体動、低灌流時にも対応できる前額部センサを使用できること。
 - 1-6-3 ディスポプローブの使用が可能であること。
 - 1-6-4 動脈血酸素飽和度の変化を同期音の音程にて把握できること。
- 1-7 非観血血圧計測に関し、以下の要件を満たすこと
 - 1-7-1 計測範囲は 0~300mmHg の範囲で測定が可能であること。
 - 1-7-2 手動/定時/連続にて計測が可能であること。
 - 1-7-3 測定の終了を音で知らせる機能を有すること。

- 1-8 観血血圧計測に関し、以下の要件を満たすこと
- 1-8-1 計測範囲は-50～300mmHg の範囲で測定が可能であること。
- 1-8-2 ゼロバランスが容易に行えること。
- 1-8-3 観血血圧から脈拍数を計測し、脈拍数計測値枠が表示できること。
- 1-9 体温計測に関し、以下の要件を満たすこと
- 1-9-1 計測範囲は 0～45℃の範囲で測定が可能であること。
- 1-9-2 YSI-400 シリーズのプローブを使用可能であること。
- 1-10 アラームに関し、以下の要件を満たすこと
- 1-10-1 アラーム音は緊急度に応じて 3 段階以上で認識可能であること。
- 1-10-2 アラーム音は、高・中・低それぞれのアラームレベルで音量・音色を設定可能であること。
- 1-10-3 アラーム設定は自動キーで行うことができること。
- 1-10-4 アラーム発生時には、リコール波形として前後の波形を記憶可能であること。
- 1-10-5 アラーム要因が消失した場合でも、過去にアラームが発生したことを一覧を表示できること。
- 1-11 機能に関し、以下の要件を満たすこと
- 1-11-1 不整脈解析機能を有すること。
- 1-11-2 不整脈解析機能を有し、その項目は 27 項目以上であること。
- 1-11-3 記憶されるリコール項目は計測値閾値、不整脈より設定できること。
- 1-11-4 選択したリコールに関して拡大表示が可能であること。
- 1-11-5 24 時間の計測値リストを作成する機能を有し、データ表示の最小単位は 10 秒表示が可能であること。
- 1-11-6 24 時間のトレンドグラフを作成する機能を有すること。
- 1-11-7 新生児に対応できる OCRG 表示機能を有すること。
- 1-11-8 長時間波形は 48 時間メモリ可能であること。
- 1-12 記録器に関し、以下の要件を満たすこと
- 1-12-1 記録器は取り外し可能であり、本体背面に接続することで一体化が可能であること。
- 1-12-2 記録器は 3 チャンネルの波形を記録可能であること。
- 1-13 セントラルモニタとの通信に関し、以下の要件を満たすこと
- 1-13-1 A 型デジタル方式で、セントラルモニタへ送信可能であること。
- 1-13-2 テレメータ送信機能を内蔵できること。
- 1-13-3 送信チャンネルは内部メニューにて、任意に変更可能であること。
- 1-13-4 時刻の同期／アラーム整合の安全性を考え、セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ間では、無線双方向通信が可能であること。
- 1-14 その他に関し、以下の要件を満たすこと
- 1-14-1 SpO2 の降下指数がわかる ODI 機能を有すること。
- 1-14-2 搬送を考慮して連続して 3 時間以上の電源供給が可能なバッテリーを有すること。

- 1-14-3 専用架台を有すること。
- 1-14-4 設置スペースを考慮しサイズは 300 (W) × 265 (H) × 75 (D) mm で、特に奥行きが 100mm 以下であること。
- 1-14-5 搬送を考慮し、質量は 3.5kg 以下であること
- 1-14-6 提案する製品は、信頼性と安定性を考え日本国内製であること。